

## 近頃、ちょっといい話

静岡・山スキーの会で11月8日、安倍奥の大光山（おおびっかりやま）に上った。好天に恵まれ、静かで楽しい山を満喫できた。ところが、下山すると同行の望月さんがデジカメを紛失したことに気がついた。

しかし、結局どこで無くしたかもハッキリせず、諦めざるを得なかった。1月初旬、なにげなく毎月各会から送られてくる会報を眺めていたら、県連の仲間の「安倍っ子山の会」の記事で「おやっ」と思うものに出くわした。

執筆者は勝山さん。記事によると11月16日（私たちが上った次週）大光山の途中で木の枝に掛けてあったデジカメを拾ったと書いてある。これは、恐らく望月さんの物に違いないと、ピーンと来てすぐ本人に連絡した。望月さんは勝山さんに連絡し、最寄の警察に届けられていたカメラを取りに行った。果たして、やっぱり望月さんのカメラであった。

1月18日、湖西連峰で県連交流ハイクがあった。勝山さん、望月さんも参加していた。二人は神石山の頂上でご対面を果たした。望月さんは、「ボッコのカメラだったけど、愛着があったもんで」。勝山さんは「うんとイイヤつだったら、貰っていたかも」って笑っていた。新春から、さわやかな話でした。勝山さんは正直な方で拾得物を届けたことが始まりだった。

時々飲みに行く三島の「九十厨（くじゅうくり）」。先日、ワイフと飲み食いした。後日、ここから電話。先日の「串かつ」の勘定が間違っていたので、今度来たときお返しします、との話だった。

だけど、考えてみると「どうして、それが分かった？」が分からなかった。

つまり、レシートに打たれている商品と勘定は合っているのである。Aが100円、Bが200円、Cが300円=600円なのである。レシートには商品名が書いてあるから、全部しっかり点検すれば分からないことはない。しかし、飲んでもあるし、大体いつも同じくらいの勘定だから点検などはしたことは無い。

ところが、店では閉店後、客からの注文伝票とレジで打った会計票を全て毎日付き合わせるそうだ。

だから注文伝票がAでレジ会計票がBに変わっていれば、一目瞭然で分かるそうだ。しかし、返金といってもたかが数百円。普通、いちいち電話をしてまで返金するでしょうか。そんな訳で、ますますこの店が気に入った次第です。

全国総会で晴海グランドホテルに向かった。メンバーは草野会長・牧田理事長・私の三人。田舎者である。品川駅から大江戸線で「勝どき駅」に行くのに切符の買い方がさっぱり分からない。駅員に聞いてやっと分かった。

今度は帰り。「築地」で寿司を食ったり飲んだりでご機嫌。大江戸線有楽町に行くか、直に東京駅に行くかで迷う。とにかく地下鉄が迷路のごとく錯綜し混乱を極める。切符を購入したが、どうも今ひとつ納得出来ない。

ふと見ると人の良さそうな若い駅員が改札に座っている。声を掛けいろいろ聞いてみると、よっぽど田舎もんに見えたか、親切丁寧に答えてくれた。その挙句、「この切符では、ちょっと・・・」と切符を取り上げると、自動販売機を開け、最も安くいける切符に交換してくれたのだ。

え～、本当かよ。こんな大都会で神様に会ったような感じだった。まだまだ、今の若い衆、そして東京の下町。決して捨てたものではありませんでした。総会は近年になく波乱に満ちたものでした。だけど、最後は気持ちよく、東京を後にすることが出来た。ちなみに、この日の東京は静岡より暖かでした。

【NO.82 2004.02.16】

